

全国エリアマネジメントネットワーク
第4期事業計画
(2019年7月1日～2020年6月30日)

1. ネットワークの活動方針

○エリアマネジメント組織のネットワーク・コミュニティの醸成【交わる】

全国のエリアマネジメント組織の交流の場を提供することによって、エリアマネジメントに係る人々のコミュニティを醸成すると共に、交わることによる学びあいを進め、今後のエリアマネジメント活動の活性化を支える。

○エリアマネジメント活動の深化・行政との対話・連携の場の構築【深める】

エリアマネジメント活動の更なる深化をさせていくために、調査研究活動を行うと共に、行政との対話の場を設け、各種活動を進めるにあたって必要となる官民連携を促進させる。

○エリアマネジメントの社会的な認知向上【広める】

エリアマネジメントと言う活動やそれを担う組織・人々を社会に発信し、その活動の意義や効果について、認識を高めて頂く活動を進める。

○エリアマネジメントに関する人材育成【支える】

エリアマネジメント活動の展開を図っていくためのノウハウの蓄積やエリアマネジメントを担う人材像の整理等を行い、活動に必要な人材育成につながる活動を進める。

2. 第4期の主な活動内容

コンセプト：

【エリアマネジメントの“すそ野の拡大”から活動・組織・人材の“質的向上”へ】

○都市のオープンスペースの更なる活用に向けた普及啓発

エリアマネジメント活動は道路等の公共空間の活用を中心とした賑わいの創出を中心に進められてきており、それらについては一定の成果が生まれ、日本全国に広がりを見せている。一方で、活用にあたっては、現場レベルでは苦勞を要している場合が多く、広く社会一般に受け入れられている所までは到達していない。また、民地側のオープンスペースとの一体的な活用についても制度的に考えていく必要もある。そこで、オープンスペースの更なる活用、そのための社会化に向けた活動を進めていく。

○エリアマネジメントの新たなテーマの検討・提示

オープンスペースの活用はエリアマネジメントの主要な活動、役割であるが、一方で、人口減少や環境への配慮、ワーク・ライフスタイルの多様化といった、都市を取り巻く状況は常に変化をしており、エリアマネジメントとして、そういった社会的課題にどう貢献できるかという点について、議論を行い、明らかにする。

○エリアマネジメント負担金制度の活用推進への貢献

エリアマネジメント負担金制度については、引き続き、各地のエリアマネジメント組織や行政との対話を進め、制度の普及活動を支えていく。

○海外情報の収集やアジア都市との連携活動の展開（エリアマネジメントの海外への展開）

前期に引き続き、アメリカのIDA（International Downtown Association）との連携を推進し、海外の様々な国で展開されている BID 等の情報を収集するとともに、昨年行ったサミットを契機として始まったアジアの都市とのネットワークをより強め、日本のエリアマネジメントの経験をアジアの都市に伝えていく活動を進める。

○ネットワークの中長期的なあり方の検討

全国エリアマネジメントネットワークの活動が4年目を迎え、様々な活動の広がりと共に、会員の増加や対外的な認知度が向上してきており、更には上記したようにエリアマネジメントが取り組むべき課題も広がりを見せつつある。そういう中で、ネットワーキングを主目的に運営してきた本組織のあり方について、改めて、再検討し、今後の組織のあり方について提示を行うと共に、シンポジウム等これまでの活動についても新たなニーズに対応した内容や運営方法を試行的に実践する。

（1）本部活動

本部では、以下のような取組みを実践する。

①情報交換・連携【交わる】

<ネットワーク会員間の情報交換・議論>

- ・官民ボーダーレスまちづくりミーティング※国交省都市局との連携による開催
- ・ニュースレター発行
 - 情報に合わせ適宜発信
- ・エリアマネジメント団体プロフィールの更新
 - プロフィール集の時点更新や新規追加を行う

<海外連携>

- ・海外向け情報発信の検討・コンテンツ作成、国際会議への参加等
 - IDA 年次総会やサミットへの参加
- ・エリアマネジメントの新たなテーマを探る視察会
 - 欧州での取組み内容の視察及び意見交換
- ・エリアマネジメントに関する国際的な対話（アジアのアライアンスづくり）
 - 情報共有・発信（アジアエリマネマガジン）、人材育成、学びの場

②パブリックリレーション【広める】

- ・シンポジウム開催（1回）
 - 9月に総会と合わせ大阪で開催
- ・オープンスペースの更なる活用に向けたキャンペーン

→国土交通省との連携によるオープンスペース（道路空間）活用の連携イベントや活用カタログ等の作成検討

・広報の充実

→WEBの更新、英語版対応等

③エリアマネジメント活動の新たな展開の議論【深める】

・エリアマネジメントの今後の役割に関する政策対話（エリマネサロン）

→実務者や行政を中心としたエリマネの新たな方向性を議論する場の開催（創造性や社会的課題への対応等）

・テーマ別・セクター別セッションの検討と開催（エリマネ分科会）

→シンポジウム形式の学びの場から、より参加者同士の議論や学び合いが出来るような機会の検討と実施。

④ノウハウ蓄積・人材育成【支える】

・エリアマネジメントの普及啓発に関するコンテンツ制作の検討

→放送大学等との連携により、エリアマネジメント活動を紹介するとともに、活動に対する理解を促進させるためのコンテンツ制作の実施を検討。

・エリアマネジメントを支える人材層の強化に関する検討ワーキング

→日本都市計画学会の「エリアマネジメント人材育成研究会」等の活動との連携により、実務者や研究者の育成、ネットワーク化について検討。

⑤組織体制に関する検討

・次期体制等検討ワーキング

→これまでの活動を踏まえた、今後の全国エリマネの立ち位置及び事務局体制や活動の在り方について検討。タスクフォースを作り、議論を進める。（組織体制／新たな活動検討（会員メリット）／海外連携）

（2）部会活動

部会では、活動方針に掲げた【深める】を中心に、エリアマネジメント負担金制度に対応する部会を継続すると共に、その他必要な部会立ち上げを検討する。

①政策・制度提案【深める】

・エリアマネジメント負担金制度活用調査部会（部会参加者の負担による別会計）